

千里の道も一歩から

令和4年度
豊能町立東能勢中学校
進路通信 NO.9
7月11日
発行者:松岡



将来につながる夏休みを！

1学期も終わりに近づき、21日から夏休みになります。1学期には、修学旅行や東能勢フェスタ、実力テストと充実した日々を過ごしたと思います。そのため、夏休みに入って、少しゆっくりしようと思っている人もいますが、

「夏を制するものは、受験を制す！」

とされています。

「夏を制する」ためには、自由な時間をどう過ごすかが重要です。そのためにも、日々の生活リズムを崩さず、決まった時間に勉強をする癖をつけることが大切です。過去の中学3年生(9年生)に夏休みをどう過ごしていたか?と聞いたことがありました。そのとき、「私は夜型だから夜中まで勉強していて、朝は遅く起きていた。」と答える人が多くいました。そのような人ほど、2学期が始まると、生活リズムが崩れたままになり、授業が始まっても集中できず、苦勞していました。これでは2学期の良いスタートになりません。夏休み中だけのことを考えるのではなく、2学期やみなさんの進路につながることを意識して、今年の夏を制してください。

そのためにも、夏休みから2学期の初め(9月中)の進路に関わる予定を確認しておきましょう。



7月21日:夏季休業開始

35日間の夏休みが始まります。この間に、多くの人が今まで頑張ってきたクラブを引退するでしょう。そして、運動会の準備も始まります。しかし、そのような日々の中でも、自分の将来を考えて、できることを「一生懸命」取り組みましょう。

7月24日:公立高等学校進学フェア・8月13・14日:私学展

以前にも紹介しましたが、今年は公立高校や私立高校が一堂に会して説明会が行われます。どちらも事前申し込みが必要になります。詳しくは、下のURLからHPを見てください。

公立高等学校進学フェア <https://www.pref.osaka.lg.jp/kotogakko/seishi/shingakufea2023.html>

私学展 <https://osaka-shigaku.gr.jp/shigakuten/>

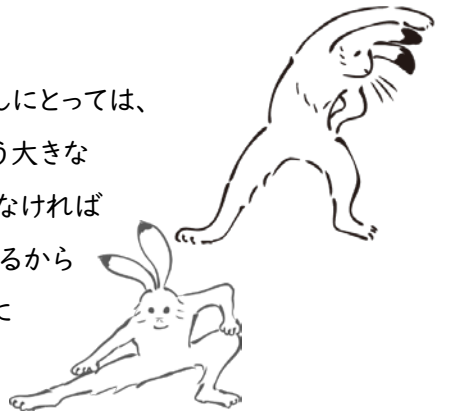
さらに、付け加えて

夏休み中には、『公立高校』『私立高校』の学校説明会などがあります。高校の先生と直接相談ができる貴重なチャンスですから、それぞれの学校のホームページ等で詳細を確認した上で、興味がある学校の説明会には参加してみましょう。行くまでに『高校の先生に聞きたいこと』を考えておくと非常によいと思います。例えば「どういった地域(市・町)からの進学者が多いですか?」「どんなクラブが盛んですか?」「私は〇〇部に入りたいのですが、何時くらいまで練習していますか?」「制服はありますか?」「最寄駅の〇〇駅から歩いて何分くらいかかりますか?」など、どんな質問でも構いません。

『こんな質問したら笑われないかなあ…』『変な質問をしたら可否に関係するのでは…』なんて思う必要はありません!疑問に思ったことは素直に尋ねましょう。このような学校説明会に参加するときは、制服で行きましょう。友だちや保護者の方と一緒に、できれば実際に通学する経路で行ってみてください。

8月25日:2学期始業式

2学期のスタートです。1年間で1番長い学期ですが、みなさんにとっては、あっという間に過ぎていく期間だと思います。それは、運動会という大きな行事があり、その後は自分の進路について考えて、選択していかなければなりません。また、義務教育9年間の締めくくりとして、まとめをするからです。この時期に焦りを感じる人が多くなります。そのような時期に余裕が持てるように、今のうちから準備をしておきましょう。



8月29日:第2回実力テスト

私立や公立の入試当日に何点ぐらいとれるかをはかるものになります。また、努力したことで力がついているのか、たまたま得意な部分が多く出題されて結果がよくなったただけなのか等を見ることができると以前、お知らせしました。第2回は、特に夏休みの頑張り(苦手な部分をどれだけ克服したか、得意なところをどれだけ伸ばしたか等)を知ることができます。

第1回実力テストの後、「今回は、本当の実力。テスト前に何もしなかった。」と言っている人がいました。今回はそのようなことがないように、持てる実力を出し切ってください。

9月6日:府チャレンジテスト(9年)

7月4日(月)、大阪府教育委員会から出されている「大阪府公立高等学校入学者選抜における調査書 評定の府内統一ルールのお知らせ」、「令和4年度中学3年の目標に準拠した評価(いわゆる絶対評価)の基準について」、「令和4年度中学生チャレンジテストを実施します。」の3種類のプリントを説明を交えながら、配付しました。テスト範囲も載っていますので、確認してください。

チャレンジテストでは、自校の結果と府全体の平均を比べて、自校の評定平均の範囲がでます。その範囲内に自校の評定平均が収まらない場合は、評価の仕方の見直しを行った上で、評定をつけます。その際、通知表等の評定に比べて低い(高い)評定がつく場合があります。

